

残留塩素の測定に。。。 残留塩素測定器 DPD法



(商品コード：4070012124)

本測定器は、残留塩素を含む水にDPD試薬を加えたとき特異的に反応し、残留塩素の量に応じて淡赤紫色を呈する反応に基づく簡易測定方法です。試薬添加操作は1回です（総残留塩素の測定の場合はオプションのヨウ化カリウムを併用して2回操作）。遊離残留塩素と総残留塩素の区別ができる測定器です。

特徴

- DPD試薬は粉体試薬で、1回1袋の分包タイプです。標準の100回分試薬と徳用の500回分試薬があります。
- DPD試薬にはpH緩衝剤も含まれていますので、検液のpHを調整し、安定した発色測定ができます（pH3～10の検水であれば安定した測定ができます）。
- オプションのヨウ化カリウム試薬を併用すると総残留塩素の測定ができ、総残留塩素濃度と遊離残留塩素との差から結合残留塩素濃度を求めることができます。
- 試薬の箱には試薬の有効期限が印刷されていますので、試薬の期限切れの確認が容易にできます。
- 比色板が取り外せますので管理が容易で経済的です。



0.05から比較できるので、0.1以上かどうかを比較しやすい!

・DPD法用粉体試薬は性能評価済み!
・当社独自検証による・ヨウ化カリウム（別売）を加えることで結合残留塩素も測定可能

DPD法用粉体試薬の有効期限は製造後2年です。製造から2年後の年月がプリントされています!

測定法	DPD法	
測定範囲	0.05～2.0mg/L 12段階	
標準比色板	0.05 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.8 1.0 1.3 1.5 2.0	
DPD粉体試薬	付(100回分)	なし
付属品	残留塩素測定器本体(比色板付)×1台 角形試験管シリコンキャップ付×3本 ビニールケース×1コ DPD粉体試薬100回分×1箱	残留塩素測定器本体(比色板付)×1台 角形試験管シリコンキャップ付×3本 ビニールケース×1コ
寸法	本体 : 67(W)×37(D)×156(H)mm ビニールケース : 97(W)×50(D)×170(H)mm	
質量	300g(ケース含む)	

遊離残留塩素の測定



総残留塩素の測定



残留塩素の基準

水道水

給水栓における遊離残留塩素として0.1mg/l以上（結合残留塩素として0.4mg/l以上）とする。

測定方法はこちら



動画



取扱説明書

● 検水を8分目ほど入れた角形試験管を、本体の右側と左側の試験管ポケットにセットします。

● 残っている角形試験管に検水10mlを入れます。

● DPD粉体試薬を加えて混和します。

● 検水の中央の孔に入れ、色を比較し、測定します。

● 結合残留塩素を求める場合
遊離残留塩素を測定した後に、別売のヨウ化カリウムを付属のさじで1杯(0.1～0.5g)加えて溶かします。

● 約2分間静置後、残留塩素の中央の試験管ポケットに挿入し、比色板と比較し、該当する標準値より総残留塩素の濃度を求めます。

● 計算式により結合残留塩素濃度を求めます。
結合残留塩素(mg/L) = 総残留塩素(mg/L) - 遊離残留塩素(mg/L)

